

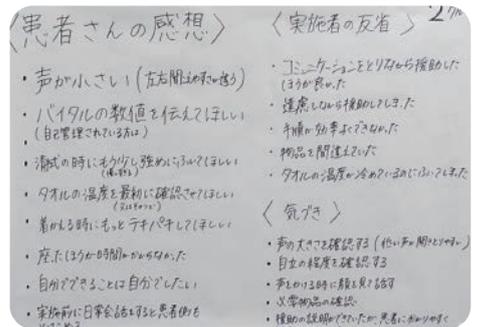
# 看護学校だより

浜田医療センター附属看護学校 <http://www.hamakan-nh.jp/>

## 模擬患者演習を行なって

看護学校では1学年後期の看護学実習前にシルバー人材センター会員の皆様のご協力のもと、模擬患者演習を行っています。入学後、学校内で患者さんの身の回りの看護援助を学習し、学士同士で練習をします。そして模擬患者演習で学生は初めて他者へ援助を行うことになります。

今年は体温・脈拍・呼吸数・血圧の測定をした後、「身体をタオルで拭いて、着物を着替える」「髪を洗う」「足を洗う」という3つの技術を練習し、当日は模擬患者のご希望の援助を実施するというスタイルで行いました。



## 模擬患者演習での患者を体験して

私が狭心症で平成24年から26年の間、浜田医療センターに4度の入院をし、看護師さんに大変お世話になったこともあり、模擬患者演習を引き受けました。私は「身体拭きと着替え」という内容を希望しました。1年生6人の班で2名が交替で説明しながら体温、脈拍、血圧を測定するなかで、学生さんの緊張感が伝わりました。他の4人の学生さんも一生懸命見学していました。少しでも学生さんの気持ちがほぐれればと思い、私の親戚の娘が看護学校の3年生で春からは医療センターの看護師として勤務することや、院内のおおぞら保育園で私の娘が

ヨシカワ トク タロウ  
吉川 徳太郎 さん



保育士をしていることなど看護学校とのご縁について話しました。援助後の意見交換会で、患者さんには出来るだけ大きい声ではっきりわかるように、また着替えの時は横になったままより、出来れば患者さんに座ってもらった方が患者さんの力を借りながら看護師さんも援助ができ、お互いが楽なのではないかと伝えました。

将来、素晴らしい看護師さんに成長することを願っています。

# 卒業を迎えて 「浜田地域の医療を担う」

65期生 樋口 未歩



私は1年生の時のナースングセレモニーで誓ったことを大切に3年間の学習・実習に励んできました。3年間の看護学校生活では他の学生の看護に対するいろいろな考えを聴くことで自分自身の成長になり、仲間との助け合いや多くの人の支えにより、一つひとつの困難なことを乗り越えられたと思っています。

実習の時に受け持ちの患者さんに自分で考えた援助を行うことで患者さんの苦痛が軽減できた言葉が聞けた時にとっても嬉しく、患者さんご自身の身体が辛い中、学生を受け入れてくださり、学ぶ場をくださったこと、そして実習をサポートしてくださった指導者の皆様に感謝しております。

これから浜田地域で看護師として働きます。患者さんの不安などの思いやニーズを聴き、他の看護師や他職種と連携することで患者さんの個別性を大切にしたいと思っています。そのため正確な知識や技術を身に付けたいです。そして、患者さんや家族の思いに寄り添うことのできる看護師に近づけるよう努力していきたいと思っています。地域で生活している人を地域で支えることができるように医療を担う一員としてたくさんの方の事を学び、自分も成長していきたいです。

## 出雲大社石見分祠で 合格祈願をしました

3年生65期生は出雲大社石見分祠で「全員合格」を祈願して2月16日の看護師国家試験にのぞみました。多くの方の応援を受けて皆が精いっぱい力を出しることができました。ありがとうございました。



お知らせ

## オープンスクールについて

2020年度のオープンスクールにつきましては、例年4月上旬に行っておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い延期したいと思います。決定次第ホームページでお知らせいたします。

